

## 第 25 期・第 3 回 科学者委員会 男女共同参画分科会 ジェンダー研究国際連携小分科会 議事録

日時：令和 3 年 12 月 10 日（金）14 時 00 分～15 時 10 分 オンライン開催

出席：井野瀬久美恵、高橋裕子、星乃治彦、三成美保（4 名/4 名）

（アイウエオ順、敬称略）

### 審議事項：

- （１） 高橋委員長から、2023 年夏に東京開催が予定されている国際女性史連盟大会において、学術会議と関連させながらジェンダーに関する日本の現状について報告したい旨提案があった。

それを受ける形で、学術会議改革と女性会員の問題を論じた井野瀬論文（『学術の動向』2021 年 9 月号掲載）や、セクシュアル・マイノリティに関する仲岡しゅん氏の論文「トランス女性の法律実務の現場から「T E R F」論争を考える」（前・後、WAN 掲載）<https://wan.or.jp/article/show/9099> 等を手掛かりにしながら、今後具体的な統計資料を含めて、全体を見直す必要性が確認された。学術会議事務局作成の「学術会議の女性会員数の推移」はその基本資料のひとつである。

また報告準備に際しては、科学研究費助成事業・挑戦的研究(萌芽) 19K21738「女性学長はなぜ増えないのか—日本の構造的特質と将来展望の探索—」研究会の知見と連動させることも確認された。

- （２） その他

日本の大学の現状と女性学長比率の低さとの関係、女性学長比率を増やすには具体的にどうすればよいかなど、などに関して意見交換を行った。

以上